

開講日	2017年秋期 火曜日 18:30-20:00	講義場所 受講資格	病院西棟1階 臨床シミュレーションセンター 実習あり	定員	30名程度
コースディレクター	名古屋市立大学大学院医学研究科 先進急性期医療学 教授 笹野 寛(臨床シミュレーションセンター センター長)				

科目概要 および 期待される 成果	【概要】 急性期医療・災害医療などの緊急事態に対応する知識や様々なスキルを講義および体験型実習形式で学びます。 【期待される成果】 急性期医療・災害医療の現場で利用できるスキルと知識を得ることで、緊迫した状況でも慌てず自分の力を発揮でき、緊急の現場で円滑なチーム医療を提供できるようになることを目指します。
目標とする 資格	

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
L-1	1	フィジカルアセスメント	救急診療に必要な身体診察技法について学びます。	9月5日	教授 松嶋 麻子(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 先進急性期医療学
S-1	2	心肺蘇生法と除細動器1	成人に対する一次救命処置(BLS)として、心肺蘇生法の基本手技(CPR)と自動体外式除細動器(AED)の実際の、マネキンを使って体験学習します。	9月12日	教授 服部友紀(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 先進急性期医療学
S-2	3	心肺蘇生法と除細動器2	成人に対する一次救命処置(BLS)として、心肺蘇生法の基本手技(CPR)と自動体外式除細動器(AED)の実際の、マネキンを使って体験学習します。	9月19日	教授 服部友紀(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 先進急性期医療学
S-3	4	気道管理法	用手および器具を使った気道確保・管理法や、窒息傷病者に対する緊急処置を体験学習します。	9月26日	教授 笹野 寛(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 先進急性期医療学
S-4	5	病院前救急医療体制	病院前での緊急度・重症度の判断法について講義形式で学びます。	10月3日	金子 洋(実務家教員) 名古屋市消防局
L-2	6	アナフィラキシーショック	アナフィラキシーショックに対応するためのエピペン(アドレナリン)の使用などについて学びます。	10月10日	教授 笹野 寛(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 先進急性期医療学
L-3	7	脳卒中の初期治療	脳卒中患者の救急外来における標準化された初期診療について講義形式で学びます。	10月17日	講師 三浦 敏靖(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 高度医療教育研究センター
L-4	8	小児科救急疾患	小児科領域の救急疾患とそのプライマリーケアについて講義形式で学びます。	10月24日	助教 長崎 理香(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学
L-5	9	急性冠症候群の初期治療	急性心筋梗塞や狭心症など、いわゆる急性冠動脈症候群の初期診療について講義形式で学びます。	10月31日	病院准教授 武田 裕(実務家教員) 名古屋市立大学病院急性心臓疾患治療部
L-6	10	急性腹症の鑑別	救急外来で頻繁に見かける腹痛の鑑別疾患について講義形式で学びます。	11月7日	講師 兼松 孝好(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 地域医療教育学
L-7	11	災害医療体制	予想される東南海トラフ地震などに備えた災害医療における我が国の医療体制について講義形式で学びます。	11月14日	副部長 山岸 庸太(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
S-5	12	災害時におけるトリアージ	災害時に必要なトリアージについて模擬患者での体験学習をします。	11月21日	清水 真名美・加藤 紀子 名古屋市立大学病院 救命救急センター看護師
L-8	13	外傷の初期対応 (胸部・腹部・骨盤外傷など)	外傷に対する初期対応について講義形式で学びます。	11月28日	副部長 山岸 庸太(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
L-9	14	てんかん・神経疾患	脳卒中以外で救急外来を訪れることの多い、神経疾患について講義形式で学びます。	12月5日	講師 三浦 敏靖(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 高度医療教育研究センター
L-10	15	中毒・熱傷の管理	救急診療に必要な中毒および熱傷の管理方法について学びます。	12月12日	教授 松嶋 麻子(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 先進急性期医療学

S: シミュレーション(実習)形式 L: 講義形式 D: 双方向議論形式